



効果的な防疫で拡大を食い止めましょう <https://jaccnet.zenoh.or.jp/action/>

春になり、豚熱が関東で続発しています

ワクチンを接種した農場でも発生しています

特にワクチンを接種する前や接種した直後の子豚で多く発生しています

豚熱ワクチンは有用な対策資材ですが、

豚熱はワクチンを打てばかからない病気ではありません

豚熱発生を防ぐには、日ごろの飼養衛生管理を徹底しましょう！

特にイノシシなど野生動物の侵入を防ぐことに特段の注力をしましょう！

イノシシの習性

昼夜を問わずエサを求めて活動し、味が濃く甘いものが好物です

行動範囲は2～3km四方で、定着と移動を繰り返します

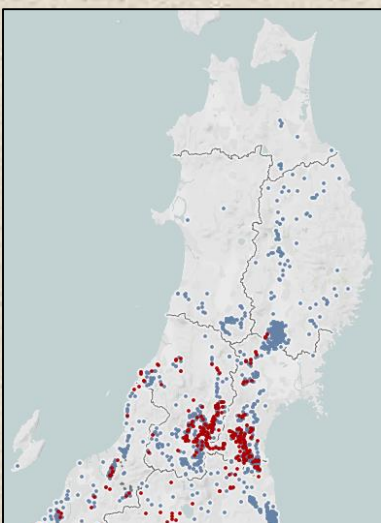
警戒心が強く臆病で人前に姿を現しませんが慣れると大胆不敵になります

学習能力が高く、エサが食べられると分かると何度も侵入を試みます

季節ごとのイノシシの行動 (冬眠はせず、年中活動しています)

冬	春	夏	秋
発情・交尾期	出産・授乳期		性成熟

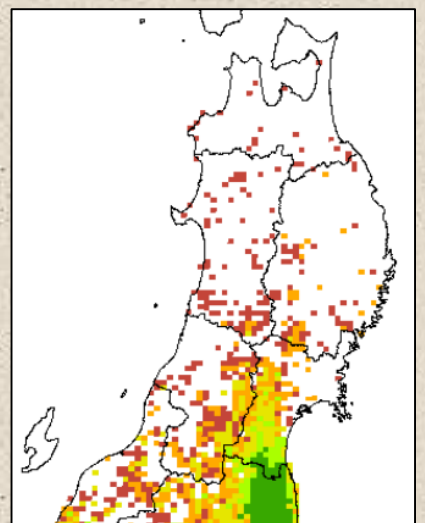
発生農場の周辺では、豚熱ウイルス陽性のイノシシが確認されています
イノシシは6年間で東北全ての県に広がりました **東北全体でも要注意！**



「宮城県が北限」は昔の話
今は北海道を除く
全県に多数が生息

関東以南では
全ての県に生息します

豚熱ウイルス陽性の
イノシシが
岩手、山形、宮城で捕獲
(2022年4月27日現在)



- ・農水省の捕獲調査結果(WEB公開)
青:豚熱陰性 赤:豚熱陽性
- ・環境省の生息調査(令和2年度)
黄:平成26年/赤:令和2年に確認

農水省WEBページ **野生イノシシ検査状況** をチェックしましょう

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

病原体を入れない

1. 人、車両は立ち入りを規制する
2. 農場内に入れる時は必ず消毒する
3. 農場の入場記録をとる
4. 立ち入り禁止の看板を設置する
5. 畜舎の周囲に防鳥ネットを張る
6. 飲水は飲用に適したものにする
川水などを使う場合は必ず消毒する

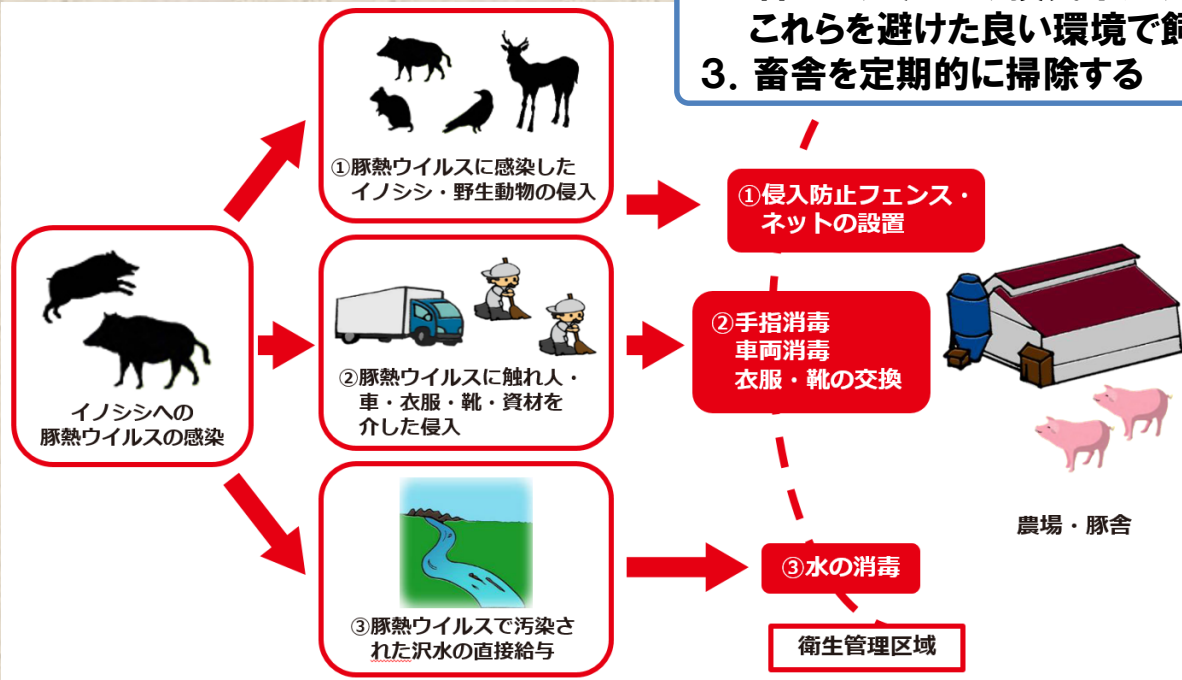
病原体を広げない

1. 畜舎毎に専用の長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日、豚の健康観察と記録
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除

病原体を増やさない

1. 過密をさげ、適切な密度で飼育する
2. 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風
これらを避けた良い環境で飼育する
3. 畜舎を定期的に掃除する

ウイルスの農場侵入予防のポイント



豚熱に効く消毒剤

種類	商品名	希釈倍数	種類	商品名	希釈倍数
塩素剤	ビルコンS	500倍～2000倍	逆性石けん	ロンテクト	500倍～2000倍
	クレンテ	300倍～3000倍		バコマ	500倍～2000倍
	スミクロール	100倍～1000倍		クリアキル100	500倍～2000倍
ヨウ素剤	クリンナップA	200倍～800倍	オルソ剤	オーチストーン	100倍～300倍
	ファインホール	200倍～800倍		ゼクトン	100倍～300倍
	バイオシッド30	500倍～1000倍		タナベゾール	100倍～200倍
アルデヒド	ポリアップ16	2000倍～5000倍	有機物の影響も考慮し、 濃い濃度での使用 を推奨 逆性石けんは石灰等でアルカリ性にするのを推奨		
	グルタクリン エクスカット	200倍～1000倍 200倍～1000倍			

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル
5000倍	4cc	20cc	100cc	500リットル	1250リットル	2500リットル